

1. 科目名 (単位 数)	教育実習指導 (初等) II (1 単位)	3. 科目番号	SJEL3456
2. 授業担当教員	安次嶺 隆幸		
4. 授業形態	基本的には講義、実習等を行い、グループ活動等を取り入れる	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	教育学概論 (初等・小)・教師論 (初等)・教育課程論 (初等) の単位を取得してから履修することが望ましい。		
7. 講義概要	教育実習に対する理解を深め、教育実習生としての態度や心構えを育成する。内容としては、教育実習の意義、目的、教育実習の概要、教育実習生としての基本姿勢・生活態度、教育実習の心構え等と、教科等の学習指導案の作成及び授業実践、教育実習日誌の作成等教育実習に必要な内容について学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人(教育公務員)としての自覚をもち、使命感をもって教育実習に臨めるようになる。 2. 教育実習での自己の課題を考え、明確にし、自信を持って教育実習ができるようになる。 3. 道徳の指導計画・学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができるようになる。 4. 学校の環境や生活の流れ、学級経営の実際等、教育実習に必要な事項を理解できるようになる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<p>★ノート指定 ツバメノートA4品番A5008 JAN: 4968796311105 一冊を準備しておくこと。毎回これを出席、課題レポートに使用します。毎回プリント課題を配布しますので、このノートに貼り、授業後に提出します。</p> <p>○道徳の学習指導案の作成・提出。 ○模擬授業観察記録表の提出。 ○教育実習で実習生に求められる義務・責任・倫理観とは何か、あなたの考えを1,000字以内で記述せよ。</p>		
10. 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】</p> <p>◇『教育実習の手引き 小学校教諭一種免許状』東京福祉大学編 ◇『小学校 教育実習ガイド』(萌文書林) 石橋裕子・梅澤実・林幸範 編著 ◇『小学校学習指導要領解説 道徳編』(あかつき教育図書) ◇『すべては挨拶から始まる! 「礼儀」でまとめる学級づくり』(東洋館出版) 安次嶺隆幸著</p> <p>【参考書】</p> <p>『教職科目要説 (初等教育編)』東京福祉大学編 『一瞬で授業に引き込むプロの技』(学陽書房) 安次嶺隆幸著</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 小学校教諭としての資質を理解しているか。 2, 児童理解を通して授業研究に取り組もうとしているか。 <p>○受講に対し、次の内容を総合して評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 授業態度 (教科書の準備・私語・発表) 30% 2, 学習指導案の提出 30% 3, 模擬授業観察記録の提出 20% 4, 模擬授業 20% <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>★ディプロマ・ポリシー</p> <p>本課程では、初等教育現場で必要とされる実践的指導力と児童の発達理解を備えた教育者の育成を目指します。</p> <p>・初等教育の実践力 教育現場で指導計画を立案・実践・評価できる。 児童の多様な学習ニーズに対応した指導ができる。</p> <p>・児童の発達理解と支援 児童の発達段階を理解し、適切な支援ができる。 学習意欲や自己肯定感を高める指導ができる。</p> <p>・教育者としての資質 倫理観を持ち、教育者としての責任を果たせる。 学校や地域と連携し、児童の成長を支援できる。</p> <p>★教育実習は、実習期間中、実習校で指導を受ける立場と、児童に対しては教師である立場という両面を学ぶ場です。そこでは、教師としての義務・責任・倫理観が求められます。そこで、次のことを守って下さい。</p> <p>★授業の約束</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 座席は指定とする。 2 正当な理由のない遅刻、早退、欠席をしないこと。(やむを得ず欠席する場合は、書面を提出のこと) 3 携帯電話の電源は切るとともに操作しないこと、及び私語は厳禁のこと。 4 レポート、アサイメントについては、指定した日までに必ず提出すること。(遅れた場合は減点です) 5 予習をするとともに、教育に関連する図書や新聞記事に関心をもち読むこと。 6 教員を目指す大学生としての自覚と覚悟をもち、その品位を保つこと。 <p>★メッセージ</p> <p>この授業では、実習へ向けての自分の【教育観】を積み重ねる【場面指導】を行います。また、課題に対して自分の考えを1分間で話す演習も行います。自分で考え、瞬時に児童に対峙し対応を迫られる教師としての【教育観】をしっかりと構築して児童の前に立ってください。</p>		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明、ポストイットの席に男女で座る一班編成 (班長・副班長)、指定ノート、場面指導、授業の説明をする。	事前学習	教育実習の手引きを読んで要点を記録しておく。
		事後学習	教科書『小学校 教育実習ガイド』&『「礼儀」

	(特に教育実習の意義・目的・概要について) ・ハイダーのABC理論		でまとめる学級づくり』はじめに、を読んで、教育実習の意義や目的を理解すること。 『すべては挨拶から始まる！「礼儀」でまとめる学級づくり』pp62-68を読んでくる。
第2回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』① ・折り紙で5人を一度に褒める方法 小学校の教育課程を理解するとともに、教師と児童との関係を理解する。(課題①教育実習で実習生に求められる義務・責任・倫理観とは何か、あなたの考えを1,000字以内で記述せよ。)	事前学習	新学習指導要領と新学習指導要領道徳編を読んで、小学校の教育課程を学習しておくこと。
		事後学習	課題①を仕上げる。アサメント次週提出。 『すべては挨拶から始まる！「礼儀」でまとめる学級づくり』pp78-83を読んでくる。
第3回	アサメント提出① ・引きつけてから展開する！ 『一瞬で授業に引き込むプロの技』② 小学校教育の概要を学習する。(小学校の教育課程、学級経営、小学校教師の一日について)	事前学習	教科書『小学校 教育実習ガイド』&『「礼儀」でまとめる学級づくり』を読んで、学級経営・学級担任の役割を理解すること。
		事後学習	小学校の学習指導の基本を身に付けること。 『すべては挨拶から始まる！「礼儀」でまとめる学級づくり』pp144-147を読んでくる。
第4回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』③ ・カウンセリングマインド 小学校学習指導の基本の確認をする。(学習指導過程、学習指導形態、発問、板書、資料、教材の工夫等)そして、学習指導案を作成する前に参観授業の記録の取り方を学習する。	事前学習	教科書『小学校 教育実習ガイド』を読んで、学習指導案の形式を学習し分からないところを記録しておく。
		事後学習	学習指導案の形式を覚えること。また、参観記録の取り方を身に付けること。
第5回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』④ ・アンガーマネジメント 学習指導案の形式・内容・作成方法を学ぶ。	事前学習	教科書『小学校 教育実習ガイド』『すべては挨拶から始まる！「礼儀」でまとめる学級づくり』を読んで、自分なりの学習指導案を考えてくる。
		事後学習	教材観の書き方を覚えること。
第6回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』⑤ (細案の学習指導案の項目について) 文科省の資料を基に、学習指導案を作成し検討する。①グループ内発表①	事前学習	道徳の学習指導案を書いてみる。
		事後学習	道徳の学習指導案を推敲すること。
第7回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』⑥ (細案の学習指導案の内容について) 学習指導案を作成し検討する。②グループ内発表②	事前学習	道徳の学習指導案を校正すること。
		事後学習	道徳の学習指導案を仕上げること。
第8回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』⑦ 第1回模擬授業の実施(グループ内で導入～展開～まとめの模擬授業を行い、参観者は観察記録をとり、それをもとに意見交換を行う。)(指導案と観察記録の提出)	事前学習	模擬授業の練習をしておくこと。 (道徳 1～6年生)
		事後学習	模擬授業後の反省点をまとめておく。
第9回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』⑧ 第2回模擬授業の実施(グループ内で導入～展開～まとめの模擬授業を行い、参観者は観察記録をとり、それをもとに意見交換を行う。)(指導案と観察記録の提出)	事前学習	模擬授業の練習をしておくこと。 (道徳 1～6年生)
		事後学習	模擬授業の反省点をまとめておく。
第10回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』⑨ グループでの模擬授業の検討&役割分担①学年時期、テーマを決める	事前学習	グループごとに模擬授業の練習をしておくこと。 (道徳 1～6年生)
		事後学習	模擬授業の反省点をまとめておく。
第11回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』⑩ グループでの模擬授業の仕上げ&役割分担②リハーサル	事前学習	グループごとに模擬授業の練習をしておくこと。 (道徳 1～6年生)
		事後学習	模擬授業の反省点をまとめておく。
第12回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』⑪ 第3回模擬授業の実施(グループごとに前に出て模擬授業を行い、参観者は観察記録をとり、それをもとに意見交換を行う。)(指導案と観察記録の提出)	事前学習	グループごとに模擬授業の練習をしておくこと。 (道徳 1～6年生)
		事後学習	模擬授業の反省点をまとめておく。
第13回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』⑫ 第4回模擬授業の実施(グループごとに前に出て模擬授業を行い、参観者は観察記録をとり、それをもとに意見交換を行う。)(指導案と観察記録の提出)	事前学習	グループごとに模擬授業の練習をしておくこと。 (道徳 1～6年生)
		事後学習	模擬授業の反省点をまとめて提出する。
第14回	『一瞬で授業に引き込むプロの技』⑬ 第5回模擬授業の実施(グループごとに前に出て模擬授業を行い、参観者は観察記録をとり、それをもとに意見交換を行う。)(指導案と観察記録の提出) 教育実習直前の準備 (実習日誌の書き方・実習録の書き方、準備等)	事前学習	教科書『教育実習の手引き』を読んで、実習日誌の書き方をまとめて提出する。
		事後学習	実習指導の準備についてこの講義で学んだことを書き出す。

第15回	この講義で学んだこと、教育実習に向けての自分のこれからの生き方・決意について書く。 小学校教師の一日の学校での仕事について、学習のまとめをする。実習終了時の挨拶と礼状の書き方を学ぶ。	事前学習	教科書『小学校 教育実習ガイド』読んで、教師の一日の仕事を覚え、記録しておく。
		事後学習	教師としての挨拶・礼状を書いておく。